



BLUE SKY

～自ら学び 心豊かな子どもに～

第16号

令和7年2月20日（木）
コタキナバル日本人会附属
コタキナバル日本人学校
TEL 088-422297



文責：校長 渡會 寛之

キナバルタイム発表会開催

2月14日（金）今年度の総合的な学習のまとめとして、キナバルタイム発表会が行われました。どのグループもICT機器を使いこなすだけでなく、聞き手を引き付ける工夫をふんだんに盛り込んだ発表で感心しました。

また、内容も充実していて、どの発表も明確な目的意識のもと、エビデンスをしっかりと示した説得力のある発表をしていました。さらに、日本人と外国人の比較を通してものの見方考え方の違いを理解していくことは、今後国際社会で生きていくためにも、とても大切なことと感じました。

今回の発表会では、まさに本校の目指す児童生徒像そのものを目の当りにした思いで一杯です。



四方大使KJSを訪問

2月13日（木）在マレーシア大使の四方敬之様が、KJSにおいでになりました。最初に、子どもたちによる歓迎の歌とダンスをご覧になると、笑顔をお見せになり、子どもたちの元気な様子に大変驚かれたようでした。

その後校内をご覧になった後は、子どもたちに貴重なお話をお聞かせくださいました。後半の質問コーナーでは、子どもたちからの質問が止まず、その積極的な姿勢にいたく感心された様子でした。流石KJSの子どもたちですね！



今年度交流学习の集大成 SIKK訪問



2月5日（水）昨年度より姉妹校となっているSIKK（インドネシア人学校）と交流会を行いました。今年度はSIKK側がホスト校ということで、大変な歓迎を受けましたが、その気持ちに十分お返しできるような「Believe」と「ソーラン」のパフォーマンスをお見せすることができました。交流では、インドネシアの伝統的な踊りや、バティック体験、箸を使った豆移しゲームなどで大いに盛り上がる事ができました。

今回の交流学习は今年1年間でどんな力を身に付けたか振り返る重要な交流会と位置付けていましたが、帰校後書いてもらった振り返りには次のような記述があり大変うれしく感じました。

【児童生徒振り返り一部抜粋】

「最初はすごく緊張してしゃべることすらできず、友達も少なかったです。けれど、この一年間の交流で、少しずつ緊張がほぐれ、今では色々な文化の体験に挑戦し、色々な人たちに日本文化を積極的に伝えることができました。交流を通して英語ができるようになり、成長を感じています。」

「沢山の学校や色々な人たちと交流していくごとに、みんなと話もできるようになったし、笑顔でいることもできるようになりました。自分たち日本の文化と向こうの人たちとの交流をするということが、改めて大事なことなんだと実感できました。」

「交流した数が2回、3回と増えてくるにつれて、自分から挨拶したり質問することができました。それだけでなく代表でスピーチもしました。交流は私たちにとって大切なものだと思います。」

このように身に付けた力を、今後人生の様々な場面で活かしてくれるよう願ってやみません。



大使に来校してもらえてツイてる！！

<https://kjs1983sabah.wixsite.com/kinabalu-japanese-sc>